



## あたりまえのことが・・・(何気ないことのなかの大切なもの)

「おはようございます。(おはようございまあす。)」

とっても寒い朝ですが、今日も青空がまぶしい、とてもいいお天気ですね。

さて、もう今日は2月の9日、新年が明けて、あっという間に1月も終わりです。

3学期は、年が明けてのんびりしたお正月気分しているとあっという間に時間が経ってしまいます。1月は行く月。行ってしまう月。二月は逃げる月。逃げるようにあっという間に過ぎてしまいます。そして、3月去る月、逃げ脚で去っていくようにあっという間に終わってしまう。そして誰か身近な人が去りお別れの月でもあります。

もう、あっという間に今の学年も終わり、新しい学年ですね・・・。

そこで今日は、「あたりまえだけどかけがいのない大切なこと」という話をします。

皆さんが今、ふだん何気なくあたりまえに思っていることが、とてもかけがえのないことだったり、とても大切なことなのに気づかないでいたりすることがあるものです。

今、皆さんの周りには、あたりまえに友達がいて、先生がいて、チャイムにあわせて授業が始まって、自分たちの決まった教室があって、けんかしたり、仲よくしたり。家に帰れば家族がいて、叱られたりほめられたり、ごくごくあたりまえのことがあたりまえのように過ぎていきます。でも、改めて考えてみると、本当にそれらのことはずっとあたりまえでいられるのでしょうか。

今ここで月曜朝会をし、1年生から6年生まで、そして先生方もいらっしゃいます。でも、あと2ヶ月くらい経つと、確実に6年生は桃五小にはいません。卒業して中学生。そして、他の皆さんも、1年生は2年生に、2年生は3年生に、3年生は4年生に、4年生は5年生に、そして、さっき言ったように、その頃6年生はもう桃五小には、いないのです。みんなそれぞれピカピカの中学生。もう、今のようここに並ぶことは、もう決して、ないのです。

先生方だって今と同じように桃五小にいてみんなの前にこの顔触れでいられるかどうかわかりません。だから、今はあたり前に、この桃五小にいて、同じ教室、同じ校舎の中で暮らしているけれども、もうしばらく経つと、もう二度と同じ人たちがそろうことはないのです。

そう、ずっと続くあたり前のことなんてないのです。

だから、今の、ふだんの何気ないこと、あたり前のことが、本当はかけがえのないことなのかもしれません。

普段のごくごくあたり前のこと、でもとても大切なことがきっとあるはずです。そしてそれは今だけしかないものなのかもしれないのです。

ですから、今、改めて自分の身の周りを見直してみませんか。

きっと、宝物のような大切なこと、大切な人に気づかずに何気なくすごしてしまっているかもしれません。大切な友達、大切な今の自分、今にしかないもの。今しかできないこと・・・。

残りわずかの3学期、もう一度見直して、新しい来年度の一年間を迎えたいですね・・・。